

9-4

従来型特養での家庭的な生活を目指して

食を愉しもう！待つ食事からの意識改革

グループケアの充実

意識改革

特別養護老人ホーム ゆうあいの郷 六月

介護主任 相場 万弥

介護係長 夷隅 和代

東京都足立区六月1-6-1

TEL 03-5242-0303

E-mail rokugatsu@seifuukai.or.jp

FAX 03-5242-0306

URL <http://www.seifuukai.or.jp/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

平成7年4月開設。特養1フロア50床（ショートステイ5床）、在宅サービスセンター、地域包括支援センター、ケアハウスを併設した、地域に貢献する総合福祉事業を目指している施設です。

<取り組んだ課題>

- 一斉から各グループへの食事場所の検討
- 利用者の残存機能の活用
- グループ毎の活動内容の検討

<具体的な取り組み>

- グループ毎の活動内容の検討・実施
 - ・野菜の栽培・収穫
 - ・糠床作り
 - ・主食の盛り付け・選択
- ボランティアへの協力依頼（野菜の栽培）

<活動の成果と評価>

- 野菜の栽培や収穫、食事の準備をすることにより、今まで行ってきた畑仕事や台所仕事の記憶とつながり、施設での生活に利用者自身の役割ができ、また活動意欲が高まった。
- 活動を通じてグループでの仲間意識や交流がより一層深まり、利用者同士の会話、居室間の往来が多くなった。
- 今までは季節の行事で季節感を味わって頂くことが多かったが、畑仕事を行うようになり、季節をより肌で感じる機会が増えた。
- 利用者の残存機能の発見

<今後の課題>

- 食の楽しみをさらに広げ、作る喜び、食べる楽しみを充実できるような業務改善が必要
- 現状に満足せず、より良い方法の模索
- 定期的な見直しと計画的な今後の展開